

# 令和4年度 事業報告

はじめに

平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」のロードマップには保育等の就業機会の提供に積極的に取り組むシルバー人材センターに重点的に財政支援を行い、保育分野等での高齢者の就業の推進や介護周辺業務や軽易な介護業務などシルバー人材センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられており、労働不足社会に対するシルバー人材センターへの期待はますます高まっています。

現在の少子高齢化が急速に進む中で、そうした期待に応え、高齢者の長年培ってきた能力・知識・技能を生かして地域の活性化のために貢献し、高齢者の健康維持や生きがい作りを図る社会的役割は益々大きなものとなっており、魅力ある事業展開を進める必要があります。

こうした中であって、新型コロナウイルス感染症による社会活動への影響が3年を経過し、恵那市シルバー人材センターの活動も感染状況を考慮しながら、コロナ禍以前の活動を徐々に再開しているところでもあります。しかしながら、コロナ禍による影響と定年後の雇用延長義務化により会員数と事業実績を昨年度に続き減少させる結果をもたらしました。会員数では、65歳までの入会希望者の減少が止まらない状況の中、571名（男367名・女204名）で、昨年度と比較すると26名の減員となりました。

事業実績は、年度後半まで昨年対比でやや微増の状況で推移しましたが、年が明けた頃立て続けに比較的大きな受注減があり、受注件数3,588件、受注金額165,021,915円で、昨年度と比べ受注件数では23件、受注金額では、856,765円と共に微減となりました。一方、労働者派遣事業では、受注件数においては、35件と昨年度より1件増加しましたが、契約金額では、比較的多額の契約の減少や、就業する施設のクラスターによる影響を受け、31,556,208円と、前年対比で3,088,100円の減少となりました。

就業開拓等の取り組みに対する会員や役職員の努力はもとより、行政関係者の指導・支援をはじめ、一般家庭・民間事業所等、様々な方々のご理解とご協力をいただきましたが、成果につなげることが出来ませんでした。

以下、令和4年度の事業概要について報告します。

## 1. 会員の拡大と会員組織体制の強化

### 1) 会員の増強と普及啓発活動の推進

シルバー事業の発展には、会員の増強と就業開拓が不可欠なため、派遣就業コーディネーターによる企業訪問、各戸訪問、会員の増強と普及啓発に感染状況を考慮しながら努めておりましたが、3年ぶりに開催された「健幸フェスタ in えな」に参加をして事業のPRをしました。毎月第2木曜日の入会説明会にはコロナ感染対策を行った上で開催を行い加入促進に努めました。さらに、恵那市全世帯に配布している機関紙「シルバー恵那」では、年1回の定例発行のほか、3月に発行した増刊号では、特に会員募集に焦点を絞り女性会員や不足している職種の会員増強を図りました。

## 2) 会員組織体制の強化

事業の円滑な推進を図るためには、多くの会員による組織化された運営体制の確立と、会員自らが就業に取り組む意識、健全な発展と信頼される事業運営の推進のため理事会を毎月実施の計画をしましたが、コロナウイルスの拡大防止の為、書面での開催2回と理事会運営に支障が出る中、可能な限り事業の効率的な運営と所管事業の推進・強化を図りました。

また、会員の交流と連帯意識の向上を図るため、以前整備した費用弁償の規程を活用し、感染対策に注意して可能な限りボランティア活動に対し参加、情報交換等が出来るよう努めました。

## 2. 就業開拓の推進と就業機会の確保

### 1) 就業機会の確保と未就業会員の解消

就業機会の確保と拡大のため、例年は派遣就業コーディネーターによる企業等の訪問に取り組み、役員による新年のあいさつ回りを行って受注拡大に努めておりましたが、本年度はコロナ禍により訪問を自粛し、非対面による就業確保の依頼を行いました。3月には広報紙「シルバー恵那」の増刊号を発行し、会員の募集とあわせて就業先の開拓に努めました。

また、一人でも多くの会員が就業できるよう、選挙管理業務や軽微な就業により、未就業会員の解消に努めました。

### 2) 技能習得と知識向上

岐阜県連合会主催による「施設受付就業体験」、当センター主催の「回想法フォローアップ研修会」「すこやかヘルパー養成講座」を開催し、就業拡大につながる技能の習得と知識の向上を図る事や「出張スマホ教室」、「スマホ・パソコンの活用講座」などを開催し、日々進歩するIT分野への知識習得を支援し、会員の普段の生活向上を図りました。

### 3) 福祉・家事援助サービス事業の推進

日常生活に支援が必要な高齢者世帯や一人暮らしの高齢者のため、関係機関と連携を図り、コロナ感染防止対策に注力しながら、軽度生活支援、寝具乾燥消毒、外出支援送迎サービス、おしゃべりパートナー訪問や各介護施設へ会員を派遣し施設利用者の声などを伺う介護相談員派遣事業等の受託業務や介護予防日常生活支援総合事業のうち軽度生活支援にかかわる市独自の基準による訪問型サービスAや現役世代をサポートするため、子育て育児サービスを受託しました。

## 3. 安全・適正就業の推進と健康管理

安全就業はシルバー事業の基本であり、会員一人ひとりが就業中や就業途上での事故防止のために、安全就業に対する認識を持ち、常に自己の健康管理を図ることが大切なため、会報「シルバーお知らせ」による関連記事を掲載し、安全意識の高揚に努めました。また、草刈作業における飛び石による物損事故を防ぐため、平成27年7月から刈払機でのナイロンコードカッター（ひも）の使用を禁止したことにより、就業中の損害賠償事故4件に止まっており、一定の成果が続いています。

又、市役所担当課と連携し、健康診断や運転意識の向上を図る講習会への参加を啓発し、健康管理と安全就業への意識向上を図りました。

## 4. 事務局体制の整備

安定的、継続的な事業展開のためには、効率的な事務局体制が不可欠です。このため、職員の交代に伴う引継ぎを円滑に進めた事により、事務処理の円滑化・効率化と適正な資産管理を行いました。

## 5. 財政基盤の確立

### 1) 安定した事業運営を図る

事業の継続的かつ安定した運営を図るため、派遣就業コーディネーターの設置により就業拡大、会員増強に努め、収益及び事務費の収入増加に努めましたが、コロナ禍により収益には繋がりませんでした。

### 2) 指定管理者制度に伴う対応

平成20年4月から当センターが指定管理者となっている「岩邑いきがい会館」の適正な管理に努め、令和3年度からの5年間、引き続き指定管理者としての指定を受けることができました。

## 6. 事業達成の努力目標

就業拡大と会員の確保をめざし、年度目標を定めて事業に取り組んできましたが、その実績は、全国会員100万人計画の目標値である恵那市に設定された666人の目標には及ばず、昨年度と比較すると会員数26名の減、受注件数23件の減、就業延人数817人日の減、受注金額では、856千円の減となりました。派遣事業収益では3,088千円の減となっています。

### 事業目標・実績比較

| 項目           | 令和4年度目標   | 令和4年度実績   | 達成率   |
|--------------|-----------|-----------|-------|
| 会員数          | 630名      | 571名      | 90.6% |
| 受注件数（派遣事業含む） | 3,840件    | 3,623件    | 94.3% |
| 就業延人数（派遣事業む） | 41,858人日  | 37,878人日  | 90.5% |
| 受注契約金額       | 175,000千円 | 165,021千円 | 94.3% |
| 派遣事業契約金額     | 35,591千円  | 31,556千円  | 88.7% |

## 7. 会員の活動の推進

会員自らの趣味や特技を生かし、親睦・交流を図るサークル活動や、各地域に組織されている地域班による公共施設等の環境整備等のボランティア活動は、コロナ禍の影響を受けましたが、会員延べ165名が参加し、地域住民との連携を深めるとともに、シルバー人材センターのPRに努めました。

## 8. 事業報告の付属明細書

令和4年度の事業報告には「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款43条(2)に規定する事業報告の付属明細書は作成しない。